

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	文化財関係保存活用等協議会事務事業			事業コード	0915
担当課等	所属名	教育委員会 歴史文化課	担当係名		
	課長名	教育委員会事務局 歴史文化課	担当者名	菊地 幸裕	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	コード 5
	基本事業	歴史的文化遗产の保護と活用	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 10款 6項 1目 文化財保護事業(004-01)	
	特記事項	新市建設計画事業				
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 13年度～)		
事務事業の概要	国指定史跡盛岡城跡・志波城跡をはじめ、市の史跡・名勝天然記念物及び建造物等の保存活用を図るため、国庫補助金予算獲得の陳情及び技術的研修などの情報収集を目的とし、各種協議会・研修会に参加するもの。					
根拠法令等	文化財保護法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成9年以降、国指定史跡盛岡城跡・志波城跡をはじめ、市の史跡名勝天然記念物及び建造物等の保存活用を図るため、国庫補助金予算獲得の陳情及び史跡整備の技術的研修会の全国大会が文化庁等の指導により開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特に無し						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
各種協議会大会、研修会への参加の機会及び負担金の額が見直された。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	全国史跡整備市町村協議会等団体及び参画する人	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 団体数	単位	団体
				B. 参加人数	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 負担金の拠出、総会・役員会・研修会参加 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 全国近代会遺産活用連絡協議会、全国遺跡環境整備会議、記念物保護行政担当者研修、文化的景観保護実務研修会、岩手県史跡整備市町村協議会文化財行政担当職員研修会への参加	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 総会回数	単位	回
				B. 役員会回数	単位	回
				C. 研修会回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	国・県及び各自治体と連携をとり、情報を交換し、文化財の保存と活用を図る	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 参画した会議で有益と思えた会議等/全体の会議数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	地域の貴重な歴史的文化遗产を次世代に伝える	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	文化財数(国・県・市指定)(単位:件) 市保存建造物数(単位:件) 歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	団体数	団体	1460	1465	1470	1470	1480	1485	年度
対象 指標B	参加人数	人	1300	1350	1375	1375	1400	1425	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	総会回数	回	2	2	2	2	2	2	年度
活動 指標B	役員会回数	回	0	0	1	1	1	1	年度
活動 指標C	研修会回数	回	0	3	3	3	3	3	年度
成果 指標A	参画した会議で有益と思えた会議等／全体の会議数	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	315	357	292				*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	315	357	292	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	315	357	292				*****
	延べ業務時間数	時間	70	78	70				*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	280	312	280	0	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	595	669	572	0	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 全国的な視野・基準・動向にたつて、歴史文化を正しく認識し、文化財の保存活用を図る。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 大会・研修会等で得た情報・技術等を多方面に提供することにより、さらなる成果の向上が図られる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 国等の最新情報や問題点・課題の把握が難しくなり、円滑な業務の遂行に支障をきたす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状でも予算削減により、多くの大会・研修会等への参加を休止している。これ以上削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状では最低限の人員のみが参加しているのみであり、これ以上の削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 派遣職員を複数化するなど、参加方法を再検討し、正確かつ効率的な情報収集に努める。また、大会・研修会等で得た情報・技術等を、他部署や関係機関等の多方面に提供し、共有を図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 予算の削減、業務量の肥大等によって、大会・研修会等への積極的な参加が難しい。国(文化庁)からは精緻な情報収集と緊密な情報交換が求められているが、それに応えることが困難となっている。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>指定文化財の保存・活用のため、国や自治体関係者と情報や意見を交換した。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>指定文化財等を保存・活用するため、自治体間で共通する課題を協議し研究するための組織活動であり、事業を進めるうえで有効である。今後も組織の活動や方策等について、一層の充実を図る必要がある。</p>														